

おおがきししぜんちょうさ
大垣市自然調査

ガイドブック

りく　こんちゅうへん
～陸の昆虫編～

おお　がき　し
大　垣　市

もく じ 目 次

はじめに		1	
ちょうさ 調査のための準備	じゅんぴ	2	
ちゅうい 注意すること		2	
ちょうさ 調査のやり方	かた	4	
ちょうさひょう 調査票		6	
ちょうさたいしょうしゅ 調査対象種	4 4 しゅるい 種類		7

□はじめに

わたし　　す　　おおがきし　　みず　　みやこ　　よ　　かわ　　わ　　みず
私たちが住んでいる大垣市は、水の 都 と呼ばれており、川や湧き水な
みず　　ゆた　　まち　　さかな　　すいせいこんちゅう　　せいそく
どの水が豊かな街です。そこにはいろいろな 魚 や水生 昆 虫が生息し
もと　　おお　　みずどり　　あつ
ており、それらを求めて多くの水鳥も集まってきます。

もちろん、生き物が集まるのは、川などの水のある場所だけではあ
こうえん　　がっこう　　こうてい　　いえ　　にわ　　みち　　あ　　ち　　みちか
りません。公園や学校の校庭、家の庭や道ばた、空き地などの身近な
い　　もの　　すがた　　あらわ
ところにも生き物が 姿 を現します。

とく　　こんちゅう　　しゅるい　　おお　　せかい　　まんしゅるいいじょう　　し
特に 昆 虫は種類が多く、世界では 80万種類以上が知られており、
にほん　　まんしゅるいいじょう　　み　　なか　　み
日本だけでも 3万種類以上見つかっています。その中には、よく見か
み　　さまざま　　せいそく
けられるもの、めったに見つからないものなど様々で、また、生息し
ばしょ　　き　　くさ　　つち　　なか　　いし　　した　　しゅるい　　さまざま
ている場所も木や草むら、土の中や石の下など種類によって様々です。

おおがきし　　ところ　　こんちゅう　　ふだん　　み
大垣市には、どんな 所 にどんな 昆 虫がいるのでしょうか？普段見
お　　ばしょ　　こんちゅう　　せいそく
落としがちな場所にも、昆 虫が生息しているかもしれません。

みちか　　こんちゅう　　しら
みんなで身近なところで、昆 虫を調べてみましょう。

□ 調査のための準備

❖ 服装：長袖、長ズボン、帽子

虫に刺されたり、とげのある植物が刺さらないように、なるべく長袖、長ズボンを着用しましょう。

❖ 持って行くもの：タオル、筆記用具（鉛筆と消しゴム程度でよい）、水筒、採集道具（網、虫かごなど）。

❖ あるとよいもの：虫除け、虫さされ用の薬など。

□ 注意すること

1. 暑さ対策をしっかりと行う。

➢ 調査は日中の屋外で行います。日射病にならないように、帽子をかぶりましょう。

➢ こまめに水分補給をしましょう。

➢ 疲れたら、休憩しましょう。

➢ 体調が悪く感じたら、すぐに調査を中止しましょう。

2. 危険な場所には行かない。

山の奥深くや崖になっているところ、深い川や流れの速い川の川辺などは危険なので、あまり近づかないようにしましょう。

3. 危険な生物に注意する。

自然に囲まれた場所には、多くの生き物が生息しています。そのほとんどは、わたしたちに危害を与えるものではありませんが、なかにはスズメバチやマムシなど毒をもつ生き物もいます。

これらの生き物が攻撃してくるのは、わたしたちを敵とみなし、自分たちの身を守るためです。

スズメバチを見かけたときは、近づかないようにしてください。ハチが近くに飛んできたら、急な動きは避けましょう。ハチを刺激しないよう、ゆっくりとその場を離れるか、ハチが去るまで動かずにじっとしていきましょう。

また、草むらにはマムシが潜んでいることがあります。草むらに入るときは、棒などで草をはらってみて、マムシがいないことを確認してから入りましょう。



ハチ



マムシ

「KENPEI、ニホンマムシ、ウィキペディア」

4. 民家に勝手に入らない。

昆虫がいるからといって、他人の家の庭や畑などには勝手に入ってはいけません。迷惑がかかります。

ちょうさ かた □調査のやり方

1. 調査範囲の中で、対象となっている昆虫を探して捕まえてください。

昆虫の探し方のヒント

- ①木や葉っぱ、草に止まってじっとしている昆虫もいます。注意深く見てみましょう。
- ②足もとをみると、草むらの中にも昆虫がいるかもしれません。網などで草を払ってみましょう。
- ③耳をすませてみましょう。昆虫の鳴き声がどこから聞こえてくるでしょうか。
- ④近くに水辺があったら、そこを飛んでいる昆虫がいるかもしれません。
- ⑤周りに花が咲いていませんか？花のみつが好きな昆虫もいます。

2. 下敷きや冊子の写真や図鑑を用いて捕まえた昆虫が調査対象種かどうか調べてみましょう。

3. 調査票に、捕まえた昆虫の名前、どんなところでみつけたか、捕まえた数を記入し、昆虫を整理してみましょう。

どんな昆虫が多く見つかりましたか？ また、どのような場所に多くいましたか？

4. 名前がわからない昆虫がいたら、図鑑やインターネットで調べてみましょう。

5. 調査が終わったら、捕まえた昆虫は逃がしてあげましょう。

注意！：捕まえた昆虫をかごに入れるときは気をつけてください。

ふだん昆虫をエサとしている昆虫と、草を食べている昆虫を
同じカゴには入れないように！

例えば、カマキリとバッタは同じカゴには入れないでね。

➤ 昆虫調査に興味を持った人は、図鑑やインターネット
などを使って、もっとたくさんの昆虫を調べてみ
よう！！

➤ 自分の家の近くの公園などには、どんな昆虫がいるの
か調査してみましょう。

おおがきししぜんちゆうさ りくいきちゆうさ ちゆうさひひよう
大垣市自然調査 陸域調査 調査票

なまえ 名前: _____ おとこ 男 ・ おんな 女 _____ さい 才 _____ てんき 天気: _____

ちゆうさ 調査した場所 (名前や住所): _____ ちゆうさ にちじ 調査日時: _____

つか 捕まえた昆虫を記録しましょう。

	つか 昆虫 捕まえた	かず 数
チヨウ	モンキアゲハ	
	ナミアゲハ	
	アオスジアゲハ	
	ツマクロヒョウモン	
	モンシロチョウ	
	モンキチョウ	
	ヤマトシジミ	
	ヒメウラナミジャノメ	
バッタ	トノサマバッタ	
	クルマバッタ	
	ツチイナゴ	
	ショウリョウバッタ	
トンボ	オンブバッタ	
	ギンヤンマ	
	ウスバキトンボ	
	シオカラトンボ	
	ヤマサナエ	
	コオニヤンマ	
	アオイトトンボ	
	ハグロトンボ	
	モノサシトンボ	

	つか 昆虫 捕まえた	かず 数
カマキリ	チョウセンカマキリ (カマキリ)	
	オオカマキリ	
	コカマキリ	
	ハラビロカマキリ	
セミ	ニイニイゼミ	
	アブラゼミ	
	クマゼミ	
	ミンミンゼミ	
カミキリ	ヒグラシ	
	ツクツクボウシ	
	キボシカミキリ	
	シロスジカミキリ	
クワガタムシ	ゴマダラカミキリ	
	クワカミキリ	
	ウスバカミキリ	
ウテムシ	カブトムシ	
	ノコギリクワガタ	
	ミヤマクワガタ	
シ	コクワガタ	
	ナナホシテントウ	
ムガシネ	ナミテントウ	
	コガネムシ	
	カナブン	

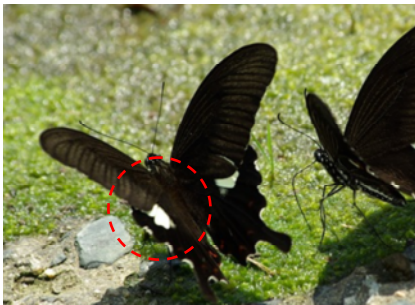
ちゆうさ 調査した場所はどこですか？ (例: 野原。木が数本立っていて、小さな池もある。 など)

ちょう さ たい しょう しゅ 調 査 対 象 種

しゅるい 4 4 種類

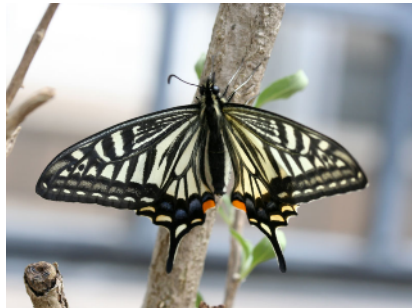
※生息地については、確認できる可能性の高い順に◎→○→△で示しています。

1. モンキアゲハ



おお 大き さ : 約 110mm
し 時 期 : 春～秋
せい 生 息 地 : ◎ : 林、△ : 水辺、街中
とく 特 徴 : 黒い翅に白い紋があり、よく自立つ。翅の裏側には、赤い模様もある。

2. ナミアゲハ



おお 大き さ : 60～90mm
し 時 期 : 早春～晩秋
せい 生 息 地 : ◎ : 野原、街中、○ : 林
とく 特 徴 : ミカンの木によく集まる。キアゲハとの区別に注意。キアゲハは翅の根元が黒い。後翅の赤と青の模様がはっきりしない個体もある。

3. アオスジアゲハ



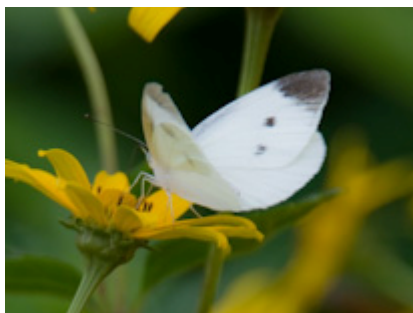
おお 大きさ : 55～65mm
 じ き 時 期 : 初夏～初秋
 せいそくち 生息地 : ◎ : 林、街中、○ : 野原、
 △ : 水辺
 とくちゆう 特 徴 : 幼虫はクスノキをエサとする
 ため、街中でもよく見られる。
 すばやい。

4. ツマグロヒョウモン



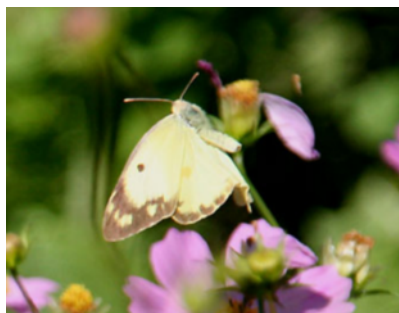
おお 大きさ : 60～90mm
 じ き 時 期 : 春～晩秋
 せいそくち 生息地 : ◎ : 野原、○ : 林、△ : 街中
 とくちゆう 特 徴 : 野原や公園で見かけられる。
 オスは後翅の端が黒く、メス
 は後翅の端と前翅の端が黒
 くなっている。

5. モンシロチョウ



おお 大きさ : 44～55mm
 じ き 時 期 : 春～晩秋
 せいそくち 生息地 : ◎ : 野原、○ : 街中、△ : 林
 とくちゆう 特 徴 : 野原やキャベツ畑などの畑
 で見られる。前翅の上部が黒
 く、前翅に左右二つつつ紋が
 ある。よく見られるチョウ。

6. モンキチョウ



おお 大きさ : 40～50mm
 じ き 時 期 : 早春～晩秋
 せいそくち 生息地 : ◎ : 野原、△ : 街中
 とくちゆう 特 徴 : 野原や公園で見られる。
 オスは黄色いが、メスは白
 っぽく、モンシロチョウと間違
 いやすい。前翅の模様で見分
 ける。

7. ヤマトシジミ



カタバミ

おお 大きさ : 20～29mm
 し 時期 : 早春～晩秋
 せい 生息地 : ◎：野原、街中
 とく 特徴 : オスは翅の表面が水色で、メスは黒っぽい。裏面は、灰色に黒い斑紋。幼虫の食草であるカタバミ付近を飛ぶことが多い。

8. ヒメウラナミジャノメ



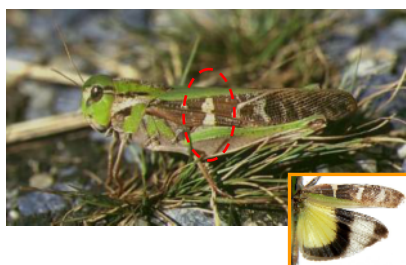
おお 大きさ : 33～40mm
 し 時期 : 春～晩秋
 せい 生息地 : ◎：林、野原、△：街中
 とく 特徴 : 前翅に左右一つ、後翅に左右5つの目玉模様がある。似たチャウがいるが、斑紋の数で見分ける。

9. トノサマバッタ



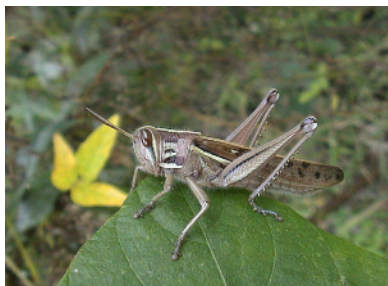
おお 大きさ : 45～50mm
 し 時期 : 夏～晩秋
 せい 生息地 : ◎：野原、○：水辺
 とく 特徴 : 河原や原っぱなどでよく見かける。茶色と白の斑模様の前翅をもつ。後翅には模様がない。
 みどりいろがな 緑色型と茶色型がいる。

10. クルマバッタ



おお 大きさ : 28～45mm
 し 時期 : 夏～晩秋
 せい 生息地 : ○：野原
 とく 特徴 : 草むらで見かける。前翅に白い線がある。後翅には半月状の帯がある。
 みどりいろがな 緑色型と茶色型がいる。

11. ツチイナゴ



大きさ：オス 35mm、メス 50mm
時期：春～秋
生息地：◎：野原、△：林
特徴：草が茂ったところで見られる。
 目の下に線があり、泣いている
 ように見える。
 成虫で冬を越す。

12. ショウリョウバッタ



大きさ：45～75mm
時期：夏～晩秋
生息地：◎：野原、○：街中
特徴：頭は尖った三角形。
 オスは飛ぶときにチキチキと
 音を立てる。
 緑色型と茶色型がいる。

13. オンブバッタ



大きさ：22～35mm
時期：夏～晩秋
生息地：◎：野原、街中
特徴：メスのほうが大きい。緑色の
 ものが多いが、茶色いものもい
 る。ショウリョウバッタのよう
 に飛べず、ピョンピョンはね回
 る。

トピックス

ナナホシテントウやナミテン
 トウは、農作物に被害を与える
 昆虫（害虫と呼ばれます）であ
 るアブラムシをエサとします。

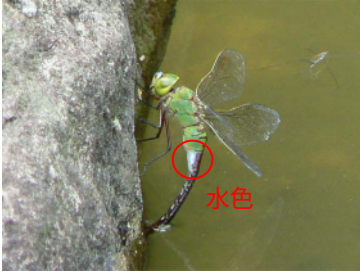
このような昆虫は、人間にと
 って役に立つ昆虫なので、益虫
 と呼ばれます。

しかし、テントウムシのなかま
 にも、ニジュウヤホシテントウな
 ののように農作物に被害を与え
 るものもいます。



ニジュウヤホシテントウ

14. ギンヤンマ



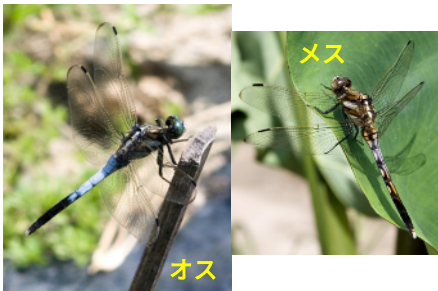
大きさ : 70mm
 時期 : 春～晩秋
 生息地 : ◎: 水辺、○: 街中、△: 林
 特徴 : 胸部は緑色で、オスは腹部の付け根が水色。
 低山地から平地の水田などの水辺で見られる。

15. ウスバキトンボ



大きさ : 45mm
 時期 : 春～晩秋
 生息地 : ○: 野原、街中、水辺、△: 林
 特徴 : 黄色～オレンジ色のトンボ。背中に黒い線がある。
 水辺から離れた都市部でも確認できる。

16. シオカラトンボ



大きさ : 50～55mm
 時期 : 春～晩秋
 生息地 : ◎: 水辺、○: 野原、街中、林
 特徴 : 成熟したオスは水色。
 メスと若いオスは茶色で、『ムギワラトンボ』と呼ばれている。

17. ヤマサナエ



大きさ : 62～70mm
 時期 : 春～夏
 生息地 : ○: 林、水辺
 特徴 : 平地や低山地の川の周辺を飛んでいることが多い。
 からだは黄色で、黒い線が入る。

18. コオニヤンマ



大きさ : 85mm
 時期 : 春～初夏
 生息地 : ◎：水辺、○：野原
 特徴 : サナエトンボ科の中では大きい。からだは黄色に黒い線が入る。からだの大きさに比べ頭が小さい。

19. アオイトトンボ



大きさ : 40mm
 時期 : 春～晩秋
 生息地 : ○：林、水辺、△：野原
 特徴 : 光沢のある青緑色をしたトンボ。成熟すると白い粉をふいたようになる。翅を閉じずに八の字に広げて止まる。

20. ハグロトンボ



大きさ : 60mm
 時期 : 春～秋
 生息地 : ○：水辺、△：林
 特徴 : 黒い翅を持つ。オスのからだは光沢のある緑色で、メスは黒っぽい。流れの緩やかな川の周辺や民家付近で見つけられる。

21. モノサシトンボ



大きさ : 42mm
 時期 : 春～秋
 生息地 : ◎：水辺、○：野原、林
 特徴 : 腹部の各節の基部に白い模様があり、目盛りに見えるため、この名前がついた。オスは淡い青色で、メスは黄色っぽい。

トピックス

トンボは、幼虫の時期は水中で、成虫になると陸で生活します。

トンボの幼虫は、『ヤゴ』と呼ばれ、語源はトンボの種類であるヤンマの幼虫を『ヤンマの子』と呼んだことからきています。

カワゲラウォッチングをやったことがある人は、コオニヤンマやハグロトンボのヤゴを見たことがあるかもしれません。

トンボは昔から日本人になじみが深い昆虫の一つです。前にしか飛ばないことから、縁起の良い昆虫とされ、戦国時代の武将のかぶとや刀の飾りにもトンボのデザインが用いられました。

ヤゴ



コオニヤンマ

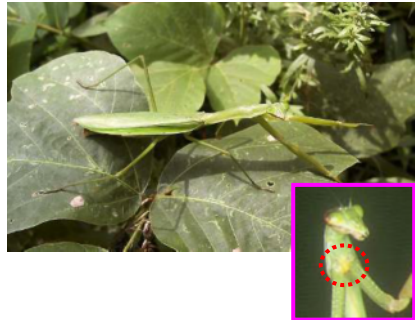
22. カマキリ (チョウセンカマキリ)



大きさ : オス 60mm、メス 85mm
 時期 : 真夏～晩秋
 生息地 : ◎: 野原、○: 林、△: 街中
 特徴 : 緑色または茶色。

前足の付け根の間にオレンジ色っぽい。民家近くや河川敷、公園などで見かける。

23. オオカマキリ



大きさ : オス 70mm、メス 90mm
 時期 : 真夏～晩秋
 生息地 : ◎: 林、○: 野原
 特徴 : カマキリよりからだがい

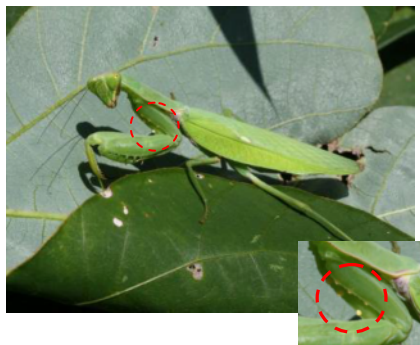
い。前足の付け根の間に黄色く、後翅が紫っぽい褐色をしている。

24. コカマキリ



おお 大きさ : オス 45mm、メス 65mm
 じ き 時 期 : 真夏～晩秋
 やい すくち 生息地 : ◎: 野原、林、○: 街中
 とく 特徴 : 茶褐色で、ほかのカマキリより小さい。前足の内側に白黒の模様がある。民家付近や、草むらなどでよく見られる。

25. ハラビロカマキリ



おお 大きさ : 50～70mm
 じ き 時 期 : 真夏～晩秋
 やい すくち 生息地 : ◎: 林、○: 野原
 とく 特徴 : 多くが緑色で、褐色の個体は少ない。ほかのカマキリより太めである。前足の付け根に黄色いイボがある。

26. ニイニゼミ



おお 大きさ : 32～40mm
 じ き 時 期 : 初夏～初秋
 やい すくち 生息地 : ◎: 林、○: 街中
 とく 特徴 : ほかのゼミより少し早く現れる。小さく、灰色でまだらもよう。鳴き声は「ニイニイ」。

27. アブラゼミ



おお 大きさ : 50～60mm
 じ き 時 期 : 夏～初秋
 やい すくち 生息地 : ◎: 林、街中
 とく 特徴 : 濃い茶色のからだをもち、翅は茶色と白のまだらもよう。鳴き声は「ジージー」。

28. クマゼミ



おお 大きさ : 60～70mm
 し 時期 : 夏～初秋
 せい 生息地 : ◎ : 林、まちなか
 とく 特徴 : 黒いからだに透明な翅をもつ。
 翅に緑色のスジがある。日本
 で最大のセミ。鳴き声は「シャ
 アシャア」。

29. ミンミンゼミ



おお 大きさ : 56～63mm
 し 時期 : 夏～初秋
 せい 生息地 : ◎ : 林、○ : 街中
 とく 特徴 : 黒地に緑色の模様がある。
 低山地で見られる。鳴き声は
 「ミンミンミンミンミー」。

30. ヒグラシ



おお 大きさ : 40～50mm
 し 時期 : 初夏～初秋
 せい 生息地 : ○ : 林、△ : 街中
 とく 特徴 : からだは褐色で緑と黒の
 模様がある。山に多い。
 鳴き声は「カナカナカナ」。
 朝も鳴くが、夕方によく鳴く。

31. ツクツクボウシ



おお 大きさ : 43～46mm
 し 時期 : 夏～秋
 せい 生息地 : ◎ : 林、○ : 街中
 とく 特徴 : 細身で黒っぽく、緑の斑紋が
 ある。警戒心が強い。夏の終わ
 り頃に現れる。鳴き声は「オ
 ーシーツクツク」。

32. キボシカミキリ



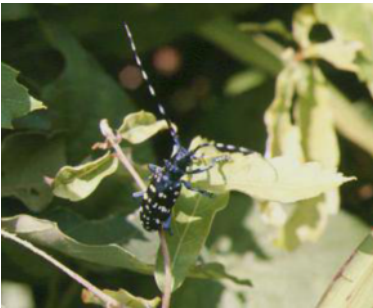
大きさ : 14～30mm
時期 : 初夏～晩秋
生息地 : ○ : 林、△ : 街中
特徴 : 濃緑色～黒色のからだに黄色い斑紋がある。
 イチジクやミカンの木などによくいる。

33. シロスジカミキリ



大きさ : 45～52mm
時期 : 夏
生息地 : ○ : 林
特徴 : 日本のカミキリでは最大。灰色で、白い縦筋が入っている。
 クリやクヌギ、ヤナギ、シイなどにいる。捕まえるとギィギィと音を立てる。

34. ゴマダラカミキリ



大きさ : 25～35mm
時期 : 夏
生息地 : ○ : 林、△ : 街中
特徴 : 青みがかった黒いからだに白い斑点模様をもつ。イチジクの木などにいる。民家付近や公園でも見かけることがある。

35. クワカミキリ



大きさ : 36～45mm
時期 : 夏
生息地 : ○ : 林
特徴 : からだは黄褐色のピロード状の毛に覆われている。クワ、イチジクの木などにいる。庭木や公園などにもいることがある。

36. ウスバカミキリ



大きさ : 43～46mm
時期 : 夏
生息地 : ◎ : 野原、林、○ : 街中
特徴 : 褐色で細長い。ブナ、ヤナギ、イチジクなどにいる。大きい。前翅が薄く、透けたようにみえるため、この名前がついた。

トピックス

カブトムシやクワガタムシは子どもから大人まで大人気の昆虫です。人気ゆえに外国産の種類も販売されていますが、外国産昆虫が野外に放たれることが大きな問題になっています。

それは、その地域にいる昆虫や植物に危害を加えたり、その地域の昆虫との雑種ができたりして、地域独自の生態系を壊してしまうおそれがあるからです。

昆虫を飼うときは最後まで責任をもつことが大切です。

37. カブトムシ



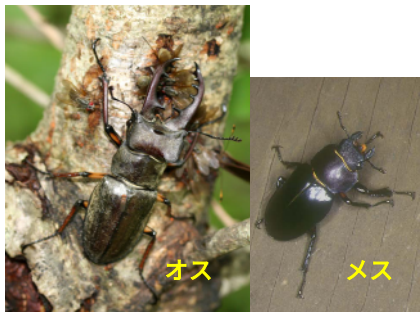
大きさ : 40～70mm
時期 : 夏
生息地 : ○ : 林
特徴 : オスは大小2本の角を持つ。メスには角がない。クヌギやコナラの樹液に集まる。

38. ノコギリクワガタ



大きさ : オス 35～70mm、メス 24～30mm
時期 : 夏～初秋
生息地 : ○ : 林
特徴 : オスの大あごは湾曲し、内側にギザギザの歯がある。メスは、他のクワガタに比べ丸みがある。

39. ミヤマクワガタ



大きさ : オス 43～72mm、
 メス 32～39mm
 時期 : 夏～初秋
 生息地 : ◎：林
 特徴 : オスは頭部の両側が張り出している。メスは、他のクワガタより大あごが太い。

40. コクワガタ



大きさ : オス 16.5～45mm、
 メス 20～28mm
 時期 : 夏～初秋
 生息地 : ◎：林
 特徴 : 小型のクワガタ。オスの大あごの真ん中あたりに一対の突起がある。からだに光沢があまりない。

41. ナナホシテントウ



大きさ : 7～8mm
 時期 : 早春～晩秋
 生息地 : ◎：野原、△：林、街中
 特徴 : 赤地に黒い斑紋が7つ。
 草原や畑などでよく見られる。
 アブラムシをエサとしている。

42. ナミテントウ



大きさ : 7～8mm
 時期 : 早春～晩秋
 生息地 : ◎：野原、林、○：街中
 特徴 : 赤地や黄色地に多数の黒い斑紋や、黒地に2つまたは4つの赤い斑紋など模様が様々。
 大きさはナナホシテントウくらい。

43. コガネムシ



おお 大きさ : 17~23mm
 じ 時期 : 夏
 せい 生息地 : ◎ : 林、○ : 野原、△ : 街中
 とく 特徴 : 緑色に輝く。林でよく見られ、サクラの木などに集まっていることが多い。

44. カナブン



おお 大きさ : 23~29mm
 じ 時期 : 夏
 せい 生息地 : ◎ : 林、△ : 街中
 とく 特徴 : 緑がかった銅色。林や公園などで見られる。コガネムシほどの光沢はない。

似

い

昆虫

て

る

➤ナミアゲハとキアゲハ

ちょうさいしやうしゆ 調査対象種のナミアゲハ
 (p.7)に似たチョウとしてキアゲハがいます。

りやうしや はね つ ね もよう 両者は、翅の付け根の模様で区別できます。



キアゲハ

に

意

虫

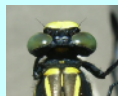
注

!!

➤コオニヤンマとオニヤンマ

ちょうさいしやうしゆ 調査対象種のコオニヤンマ
 (p.12)に似たトンボとしてオニヤンマがいます。オニヤンマの方がからだが大きめですが、見分け方としては眼に注目します。

どちらも、きれいな緑色の眼をしていますが、コオニヤンマは両眼が離れていて、オニヤンマはくっついています。



コオニヤンマ



オニヤンマ

まちが ほかにも間違えやすい昆虫はたくさんいます。
 じぶん ちが 自分で違いを調べてみましょう。

メ モ

はつ
発

こう
行

おおがきしやくしょ せいかつかんきょうぶ かんきょうえいせい
大垣市役所 生活環境部 環境衛生課

おおがきしまる うち

〒503-8601大垣市丸の内2-29

TEL：0584-81-4111 (内線413)

E-mail：kankyoueiseika@city.ogaki.lg.jp

へん
編

しゅう
集

いっばんざいだんほうじん ぎふけん こうしゅうえいせいけんさ
一般財団法人 岐阜県公衆衛生検査センター



大垣市の木・花・魚
クスノキ・サツキ・ハリヨ